



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 10月号
平成24年10月1日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 371-0757
FAX 381-7248

実りの秋

学校長 小池 慎一

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言われていますが、秋分の日を過ぎるころから朝晩めつきり涼しくなり、暑かった夏も終わったのだと感じるようになりました。

夏の暑さには、5月頃から時間をかけて体をなじませることができですが、秋の涼しさは、急に訪れてくるため、毎年この時期には体調を崩す子どもたちも、多くいるようです。

夏から秋への季節の変化に、上手に体を適応させたいものだと思います。

春に蒔いた種、春に植えた苗、春に咲いた花が、夏の陽の光をたっぷり浴びて、秋になり実りを形づくってきます。

秋は、「実りの秋」とも言われていますが、一言で「実り」と言っても、様々な実りの形があると思います。

保健委員会の子どもたちが育てていたトマトは、5月下旬に苗を植えて、暑さ真っ盛りの8月には収穫ができ、今はそろそろ後始末の時期になりました。



5年生が育てている「かわしまブランド米」は、6月初旬に田植えをして、夏の太陽に照らされながらたっぷりと水を吸い上げ、10月には収穫ができそうです。



夏みかんは、5月に白い花が咲いて、夏が過ぎてずいぶんと実が大きくなってきましたが、まだまだ青くて、冬にならないと食べ頃にはなりません。



春から同じように始まっていますが、実りを収穫できる時をゴールとすれば、そのゴールは様々です。

ふと考えると、人間も生まれたときは同じでも、途中の歩む道はみな違っていいし、満たされた実りも、人それぞれであっていいのではないかと、そんな風に思えるのです。

10月5日には、今年1年間の中間の区切りとしての、前期の終業式を迎えます。

この半年の間に、子どもたちが学校生活の中でどのような満足感を得られたのか、「あゆみ」を見ながら、親子で話をしてみるのも良いかと思えます。